

## (1) 医師から皆様へ

### 〈 こどもの食物アレルギー ② アレルギ-の検査について 〉

前は食物アレルギーにならないためには小さい頃にはできるだけ制限なく色々なものを食べるほうがよいということ、最近の科学知識をもとにお話させていただきました。

でも、そうは言っても明らかなアレルギ-の場合には、危険回避のため程度に応じ摂取制限せざるを得ないこともあります。制限するかしないかは、各種の検査結果に基づき慎重に判断する必要があります。では、アレルギ-が疑われるお子さんはどのような検査を受ければよいのでしょうか。

まず最も一般的に実施されているのはアレルゲン抗体検査(RAST)あるいはヒスタミン遊離試験(HRT)という血液検査です。調べたい食品に対して高い値が出ればアレルギ-の可能性が高いというものです。しかし、これらの検査には落とし穴があります。それは、数値が高くても予想に反して食べてもアレルギ-症状が出ない人がたくさんいるということです。このような「実はアレルギ-ではない人」を区別できないのです。また、生後間もないお子さんは免疫反応が弱くアレルギ-なのに反応が出ない場合もあります。

こういったケースでは、プリックテストやスクラッチテストという皮膚テストを実施することがあります。皮膚を軽く傷つけてそこに食品の成分を少し塗り、赤くなったり腫れたりするかどうかをみます。しかし、これもアレルギ-でなくても陽性になることがあります。肌が敏感だと、少し引っかいたり異物が触れるだけで赤くなることからです。赤ちゃんの口の周りがよだれや食べこぼしですぐ赤くなることを考えていただけば、分かるでしょうか。

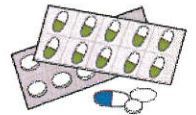
では食物アレルギーは検査できないのでしょうか。いいえ、食物アレルギーの診断を確定する唯一で確実な方法があります。それは実際にその食物を食べさせて症状をみる食物負荷テストです。食べて症状が出るか出ないかを見るわけですから確実ですね。食物アレルギーの専門家の間では、この検査でしか食物アレルギーの診断はできないというのが常識です。食物アレルギーかなと思ったら、まずは負荷テストが必要か、安全に実施できるかを専門的に判断する必要があります。血液検査・皮膚テストはこの判断の補助として有用なものです。負荷テストが必要と判断された場合、万が一に備え緊急の医療対応ができる設備の整った環境で実施することが大切です。

5月号に「こどもの食物アレルギー ③」へと続き、今回は湿疹と食物アレルギーについてお話しします。



## (2) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ・演 題 : 役に立つ薬の話
- ・講 師 : 薬剤部 部長代理 菊井 利伸
- ・日 時 : 3月12日(木) 14:00~15:30
- ・場 所 : 南甲子園公民館(Tel. 49-4741) ※無料(参加自由)



## (3) 看護助手を急募!

看護助手を募集しています。一緒に明和病院で働きませんか?  
詳細は総務課(代表 0798-47-1767)までお電話にてお問合せください。

- ・求 人 数 : 若干名(勤務開始日は応相談)
- ・職務内容 : 看護助手業務(病棟)
- ・必要資格 : なし
- ・勤務形態 : ①フルタイムパートタイマー  
選考のうえ常勤職に登用する制度があります。  
②パートタイマー  
多様な働き方が出来ますのでご相談ください。



## (4) 駐車場のご利用について

精算機で利用できる金種は、10円・50円・100円・500円硬貨及び  
1,000円・5,000円・10,000円紙幣です。料金は次のとおりです。

ご来院目的	基本料金	超過料金
すべての方	入庫から30分以内 無料	—
外来患者様	入庫から6時間以内 200円	1時間ごとに100円
外来患者様(透析)	入庫から8時間以内 100円	1時間ごとに100円
入院患者ご家族等 お付添い・お見舞い (原則2親等以内)	入庫から2時間以内 200円	1時間ごとに100円
上記以外のご利用	【外来診療日の8:00~15:00】 入庫から1時間以内 500円	30分ごとに200円
	【上記以外の時間帯・休診日】 入庫から1時間以内 200円	30分ごとに100円

### 〈割引のお手続きについて〉

1. 外来患者様は中央会計窓口(透析患者様は透析室内)にて駐車券をご提示下さい。
2. 入院患者ご家族等は、入院先病棟の看護師詰所(ナースステーション)にて割引申込書をお渡ししますので、ご家族と患者様のお名前、車両番号(4ケタ)、続柄をご記入の上駐車券を添えてお申し込みください。
3. 入院患者ご家族等で、やむをえない事情で長時間在院される場合は別途割引がございませう。